

「普天間飛行場跡地利用計画策定調査業務委託」

企画提案書 評価基準

1 審査項目、点数配分

(委員審査…100点 100点×5名=500点)

I 調査の視点、今年度業務のフロー、執行体制、業務行程表	25点
(1) 調査の視点	10点
(2) 今年度業務のフロー、業務工程表	10点
(3) 執行体制	5点
II 基本調査項目（業務内容）	75点
(1) 中南部都市圏における普天間飛行場跡地の位置づけ、まちづくり理念の明確化	5点
(2) 行程計画に基づく「目標を定め重点的に取り組む項目」に関する検討等 【特に重視する項目】 ・1) 大規模公園エリアを核とした沖縄振興拠点の創出 ・2) 周辺インフラや市街地との連携 ・6) 土地利用の目標、方向性の検討	32点
(3) 大規模公園の検討	8点
(4) 関係機関協議支援業務	8点
(5) 合意形成の促進及び県内に向けた継続的な情報発信	6点
(6) (7) 普天間飛行場跡地利用推進会議等の開催補助	4点
(8) 「行程計画」の更新の支援	3点
(9) 有識者ヒアリング	3点
(10) 「全体計画の取りまとめ（骨子案）」の作成	6点

2 評価の着目点

(1) 実施方針

評価の着目点	判断基準
業務理解度	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。
実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。 業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。
その他	業務に関する知識、有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。 地域の実情を把握した上で、業務の円滑な実施に関する提案があった場合には評価する。

(2) 業務内容

評価の着目点	判断基準
的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。
	着目点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。
	事業の重要度を考慮した提案となっている場合に優位に評価する。
	事業の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。
実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
	提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。
	利用しようとする技術基準、資料が適切な場合に優位に評価する。
	提案内容によって想定される事業費が適切な場合に優位に評価する。
独創性	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。
	周辺分野、異分野技術を援用した、高度の検討・解析手法の提案がある場合に優位に評価する。
	複数の既存技術を統合化する提案がある場合に優位に評価する。
	新工法採用の提案がある場合に優位に評価する。

(3) 業務コスト

評価の着目点	判断基準
業務コストの妥当性	業務規模と大きく乖離がある場合は非選定。

※原則として、第一位入選者と委託内容を協議し、委託契約を行う。ただし、提出された企画提案書すべてが一定の水準に達していない場合、委託契約方法を変更する。

※選定基準について、合計点数が配点合計 500 点の 60% (300 点) 以上であることを選定の条件とする。ただし、第一位入選者（または入選候補者）の合計点数が 60% (300 点) 以上の場合であっても、各委員の採点(100 点満点)において 60% (60 点) 未満の配点がある場合は、委員の協議により当該提案事業者の選定・非選定を決定する。